

吉野機械製作所、千葉市で新工場竣工 曲げ加工機の生産増強

2025/05/02 19:32 日本経済新聞電子版 306文字

鍛圧機械などを手掛ける吉野機械製作所（千葉市）は2日、千葉市内で同社3カ所目となる新工場を竣工した。ドア枠など完全自動の曲げ加工機の組み立てなどを担う。同社は企業向け機械の販売事業に注力しており「新工場の稼働で売上高は年間10億円の上乗せを目指す」（吉野友章社長）という。

新工場の延べ床面積は約750平方メートルで事業費は約2億円。千葉興業銀行から資金調達した。製造業の人手不足が深刻になるなか省力化しやすい自動曲げ加工機などを製造する。

竣工式に出席した千葉市の神谷俊一市長は「国際取引など不確実性の高い時代だが、千葉市が誇るものづくり企業として、確かな技術で着実に実績を積み重ねていくと確信している」と話した。



第3工場の稼働で年間売上高10億円の上乗せを狙う



吉野機械製作所は3つめの工場を新設した（2日、千葉市）

許諾番号30103615 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.